

平成30(2018)年度 栃木県県北健康福祉センター協議会地域医療構想部会 議事録

- 1 開催日時 平成30(2018)年7月11日(水) 午後2時～午後3時
- 2 開催場所 栃木県庁塩谷庁舎1階 101会議室
- 3 出席者 別紙名簿のとおり
- 4 議事内容

- (1) 開 会 進行：県北健康福祉センター 池田総務企画課長
・公開の会議であることを周知した。

- (2) あいさつ 小沼部会長（那須郡市医師会）

- ・ ご案内のとおり、平成28年3月、栃木県において医療計画の一部として「栃木県地域医療構想」が策定された。

この「地域医療構想」は、団塊の世代が全て後期高齢者となる2025年に向けて、二次医療圏の地域医療構想区域ごとに、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を促進し、効率的で質の高い医療の提供体制の確保を目指すものでありますが、皆さんお気づきのとおり、二次医療圏できっちりできるものではない。患者さんのために何が良いか、地域として考えていく。もっと広く考える、あるいは、もっと狭く考えるということもあるのではないかと。

今日は忌憚のない意見を述べてください。

地域医療構想には何が必要なのかということをお皆さんと一緒に考えていきたい。その結果、地域の医療が良くなればよいなと思っている。

- (3) 議 事 議題1から議題4まで小沼部会長が進行

○議題1 新公立病院改革プランについて

- ・資料1に基づき鈴木主査が説明
- ・資料2に基づき那須南病院 宮澤院長が説明

《質疑・意見等》

①小沼部会長（那須郡市医師会）

病院の現状について、回復期病床がない。2次救急の患者さんのリハビリテーションはどうしているのか。

→宮澤委員（那須南病院）

療養病棟の半分の患者さんは、リハビリを利用している。

②小沼部会長（那須郡市医師会）

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士はいるのか。

→宮澤委員（那須南病院）

従来は理学療法士3名体制だったが、現在は理学療法士に加えて、作業療法士、言語聴覚士も配置し、強化している。

③小沼部会長（那須郡市医師会）

現状、人数は間に合っているか。

→宮澤委員（那須南病院）

何とか間に合っている。

④小沼部会長（那須郡市医師会）

塩原温泉病院は回復期専門だが、紹介はしているか。

→宮澤委員（那須南病院）

リハビリは高齢者が多いので、地元を希望する患者さんには当院で対応、若年の方、リハビリに意欲のある患者さんには、塩原温泉病院などリハビリの専門病院を紹介している。

⑤小沼部会長（那須郡市医師会）

3次救急の那須赤十字病院との連携は、どんな状況か。

→宮澤委員（那須南病院）

当院は2次急性期は対応しているが、高度急性期は対応できないので、3次那須赤十字病院や大学病院にお世話になっている。

⑥小沼部会長（那須郡市医師会）

「在宅医療の推進をしている」とのことだが、先生の地域では開業医の数は減っていますよね。ましてや、在宅をやる先生はどうか。先生の病院でやっていること、やろうとしていることはあるか。

→宮澤委員（那須南病院）

当病院から退院した患者さんには、訪問看護を行っている。また、訪問リハビリも始めた。医師会の状況については、佐藤先生からお話しいただいた方がよしいのではないか。

→佐藤委員（南那須医師会）

在宅医療について、多職種で盛り上がっている。南那須地区の開業医はかかりつけ医として訪問診療、往診に対応している。24時間対応の在宅療養支援診療所が4件、強化型が3件、4人。入院が必要な時、困った時は、那須南病院の先生にお願いして、入院させてもらったり、アドバイスをいただいている。

⑦岡副部会長（塩谷郡市医師会）

「人工透析医療体制の充実」について、南那須地区の透析施設は足りず、塩谷、宇都宮、大田原に行かなければならない患者さんがいて大変。公的病院が透析施設を作るとなると、設備費がかかる、スタッフを揃えるのが大変。透析・腎臓の専門の医師は全国的にも足りない。仮に専門医が来ても、辞めた後はどうするのか、考えなければいけない。県内の他の公的病院で熱心にやっていた医師が開業してしまい、大変な状況になっている病院がいくつかある。専門医を大学病院から派遣するのは大変なこと。公的病院は透析をやるより、透析をやっている民間医療機関を誘致する方がよいのではないか。他の3つの項目、365日24時間対応、へき地医療、在宅医療推進は大きな項目。人工透析医療体制の充実だけは、奇異な感じを受ける。

→宮澤委員（那須南病院）

当地域から他の地域に、遠方まで週3回透析に通っている患者さんが、相当数いる。これらを踏まえて、当地域の議会などからは透析の拡充の要望が非常に強い。10年来の要望。検討の中では、民間の誘致は、アイデアとしては過去に出たことはあるが、地域地域の問題があり、対応いただける医師は現れなかった。現在、透析の拡充ができないのは、常勤医師が不在による。現在、非常勤で回している。常勤の確保に今まで取り組んできているが、岡先生のおっしゃった方向性も、検討していきたい。

⑧小沼部会長（那須郡市医師会）

那須南病院に2025年に向けて将来像のプランを示していただいた。

このプランを踏まえて、今後も地域医療構想部会において、公立病院としての役割、他の医療機関との連携について、議論を進めていければと思います。

なお、公的医療機関等2025プランについては、昨年度の部会で那須赤十字病院に説明いただいている。新委員さんもいらっしゃるので、那須赤十字病院のプランを資料として付けさせていただいた。後でご覧いただきたい。

○議題2 医療機関に対する意向調査の実施について

- ・資料2に基づき鈴木主査が説明

《質疑・意見等》

①小沼部会長（那須郡市医師会）

調査をしていつまでにまとめて、どういう形で発表して、それをどうしようとしているのか。

→鈴木主査（県北健康福祉センター）

予定としては、9月に病院及び有床診療所の会議を開催させていただき、今年度中には意向調査をまとめて、調査結果をこの調整会議などでお示したいと考えている。

②小沼部会長（那須郡市医師会）

オブザーバーで来ている医療政策課に伺う。県全体でも意向調査は行われるのか。

→渡辺主幹（医療政策課）

現在、意向調査につきましては、各地域で調整会議での決定を持ってやるということで、各地域で進めてもらっている。

2025年に病床を持つとする医療機関全てが、その地域で果たそうとする役割、機能ごとの病床数の意向を表明した上で、地域医療構想が実現するように、各医療機関相互で協議したり、役割や持つとする病床などを相互に認め合うことが国から求められており、それに沿った方法でやっていきたい。

○議題3 平成29年度病床機能報告集計結果の概要等について

- ・資料3に基づき鈴木主査が説明

《質疑・意見等》

①小沼部会長（那須郡市医師会）

那須赤十字病院と国際医療福祉大学病院は変更の予定はないか。

→白石委員（那須赤十字病院）

予定はない。

→大和田委員（代理：柴副院長）（国際医療福祉大学病院）

増床を予定しているので、353床でなく、408床になる。内訳は、小児療養療育が15床、残りは急性期。病床の運用は今年の11月～12月を予定している。

○議題4 その他

- ・地域医療構想調整会議等の進め方について、資料4に基づき、池田総務企画課長が説明

《質疑・意見等》

特に無し

《総括》

①小沼部会長（那須郡市医師会）

太田先生、総括のご発言をお願いいたします。

→太田県医師会長

病床機能については、新しい機能報告に基づいて記載していただいた方がよい。那須赤十字病院の高度急性期は、病床機能報告では57床だが、プランでは47床になっている。新しい数字を入れていただければと思う。

新公立病院改革プラン、那須南病院についてだが、3ページの（1）の地域医療構想を踏まえた役割の明確化の③に政策医療の記載がある。確かに政策医療は

非常に大事、特に公立病院にとって非常に大事である。経営を考えると、なかなかプラスになるのは難しい。そういう中で、いかにして経営にとってプラスになるような診療体制で行くかが大切。さきほど、透析の話が出たが、透析は診療報酬から見るとかなりのウエイトを占める。この地区にとっては必要ではないかと思う。

医師の確保について、昨年度から比べて1名の常勤医師増のプランになっているが、これで大丈夫なのかと思う。もう少しドクターが増えないと、地域医療にとって難しいのではないか。また、医師だけでなく、看護職員がどうなっているかについて書いていただければ、もう少しいいものが出るのではないか。回復期の話も出ていたが、セラピストの確保は大変、慢性期の病床50床の半分を回復期の病床にしてはどうか。プランの中では病棟とは言っていない。病床という表現になっている。一つの病棟を半分に割ってもいいので、回復期を充実していただきたい。

この地区は医療の過疎のところがある。救急も大変。那須南病院を背負っていくということは、ドクターの補充が必要。県にドクターの派遣をお願いすること、大学との連携が必要ではないかと思っている。

在宅医療について、2年前にある行政の方が、「在宅、在宅と言うのですが、在支診をやっているドクターの高齢化という話を聞いた。あと10年たったらどうなるんだろう。」という話をしていた。在宅をやるドクターの数、あるいは、病院からの訪問診療、訪問看護、訪問リハをこれからは考えていかなければならない。そのためにも、那須南病院の医療職員の増員が求められる。

(4) 閉 会 県北健康福祉センター 池田総務企画課長